

仮定法

誰でも一度は「もしも自分が宝くじに当たったら～しよう」という妄想をしたことがあるのではないのでしょうか？ここでは英語で「もしも～」(if)という仮定をして何かを表現する方法について述べます。仮定するにも種類があるので、一つ一つ述べていきます。

1. 事実に反する内容を仮定して表現するもの(仮定法過去)

「もしも～」と述べているということは、実際の事実ではないことを述べています。この事実を if の後に文章で述べましょう。まずは例文を見て、そのあと解説します。

例★If I had a car, I could commute more easily.

もしも車を持っていたら、もっと簡単に通勤できるだろう。

(commute＝通勤する)

以下にポイントを整理して述べます。

●if 中の文章の動詞は**過去形**を用います。日本語でも「もしも～"だった"ら」などと言ったりするので、これを同じだと思えば覚えやすいです。

(※be 動詞を使うときは were を使いましょう。ただし口語では was もあります)

●if～に伴う文章(主文)の動詞の部分には「**助動詞＋原形動詞**」を使います。表現したい内容に応じてこれらの助動詞を使い分けましょう。

(should,would,might,could など)

2. まずありえないことをあえて仮定するとき

仮定する内容が非現実的で、起こり得る可能性が低いけれども「万が一もしも～」というニュアンスで仮定するときには下記のような表現にしましょう。

例★If the light should turn yellow, the device would stop functioning correctly.

(万が一)もしもライトが黄色になったら、その装置は正常に動作しなくなるだろう。

以下にポイントを整理して述べます。

●if の文章の動詞の部分は **should＋原形動詞**、もしくは be 動詞なら were to＋原形動詞を使いましょう。

●if～の文章に伴う文章(主文)の動詞の部分は「**助動詞＋動詞**」にしましょう。助動詞は will,would,shall,should,may,might,can,could どれを使ってもいいですが、意味に従って使い分けましょう。

3. 全てを過去のこととして仮定するもの(仮定法過去完了)

過去のことを振り返って「もしもあのときあの娘に告白していれば、きっと結婚できていただろう」とか、後悔している男はどれくらいいるのでしょうか？ここで重要なのは、ifの中が「もしも～”していた”なら」で、主文の部分も「～できた”だろう」と、いずれも過去のこととしてわりきって述べていることです。

こういう場合はどう表現するのでしょうか？下記に例文を参照してください。それからポイント整理します。

例★*If she had been there on time, she would have seen the beautiful sunset.*

もし彼女がそこに間に合っていれば、そのきれいな夕焼けを見逃してはいなかっただろう。

以下にポイントを整理して述べます。

●ifの文章の動詞の部分は“had＋過去分詞”にしましょう。

●主文の動詞の部分は「would/could/might/should＋have＋過去分詞」の順で表現しましょう。助動詞はいずれも意味に応じて使い分けましょう。

4. ifを使わない仮定法

以下にifを使った仮定法の文章を述べます。これらはちょっと変化させるとifを使わなくても同じ意味の文章をつくることができます。これらの文章はいずれもifの文章内の動詞(または助動詞)と主語の順序を逆にする(倒置)によってifを省くことができます。以下に「ifがある文章」と「ifを省いた文章」の比較によって説明します。

●仮定法過去の場合

下記の例文をみてください。

例★*If he were a banker, he would have a stable life.*

もしも彼が銀行員だったら、彼は安定した人生を送るだろう。

↓

このifの部分の動詞(were)と主語(he)を逆にしてifを省いて以下のように訳すと、同じ意味になります。

↓

例★*Were he a banker, he would have a stable life.*

もしも彼が銀行員だったら、彼は安定した人生を送るだろう。

※整理するとIf **he were**～

(ifをとって)**Were he**～です。

● 仮定法過去完了の場合

下記の文章をみてください。

例★*If he had been a banker, his life would have been more stable.*

もしも彼が銀行員だったなら、彼はもっと安定した人生を送っていたらろう。

↓

この if の部分の助動詞 (had) と主語 (he) を逆にして if を省いて以下のように訳すと、同じ意味になります。

↓

例★*Had he been a banker, his life would have been more stable.*

もしも彼が銀行員だったなら、彼はもっと安定した人生を送っていたらろう。

※整理すると If he had been ~



(ifをとって) Had he been ~ です。

● should を使った仮定法の場合 (万が一のことを仮定するとき)

例★*If he should pass the test, he would be a doctor.*

(万が一) もしもその試験に合格すれば、彼は医者になるだろう。

↓

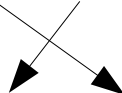
この if の部分の動詞 (should) と主語 (he) を逆にして if を省いて以下のように訳すと、同じ意味になります。

↓

例★*Should he pass the test, he would be a doctor.*

(万が一) もしもその試験に合格すれば、彼は医者になるだろう。

※整理すると If he should pass ~



(ifをとって) Should he pass ~ です。